

## 請求書発行業務を紙からWeb配信に切り替え 作業時間が半減するとともに、在宅勤務も可能に

CASE STUDY

エムオーテックス株式会社



### 約40時間の作業が、ほぼ半分に短縮

ネットワークセキュリティの分野で高いシェアを誇る「LanScopeシリーズ」をはじめ、多様なソフトウェアの開発・販売を行っているエムオーテックス株式会社（以下、エムオーテックス）。同社では、これまで紙ベースで行っていた請求書発行業務を「SVF Cloud」と「invoiceAgent TransPrint」を使ってWeb配信へ切り替えた。紙ベースのときには、経理部スタッフ2人が約40時間かけて行っていた作業は、ほぼ半分の時間に短縮され、業務効率化に貢献している。

写真左より：エムオーテックス株式会社 経営管理部 経理課 課長 末永 恭平 氏、エムオーテックス株式会社 経営管理部 経理課 樋口 裕剛 氏

### Summary

概要



#### 背景・課題

- 単純業務である請求書発行業務を自動化し、これまで2人で40時間かかっていた作業を軽減したい
- 今後、取引先が増加し請求書発行件数が増えても、業務が正比例して増えない仕組みをつくりたい



#### 導入のポイント

- SVF CloudとinvoiceAgent TransPrintを組み合わせ、請求書のWeb配信と自動振り分けを実現
- 紙の請求書の郵送が必要な場合は、代行郵送サービスを活用



#### 効果

- 紙ベースでの請求書発行に比べ、印刷・封入・発送手続きがなくなり工数が約半分に減少
- ペーパーレスにすることで出社する必要がなくなり在宅での業務が可能に
- 請求書の自動振り分けにより、取引先が増加しても大きく工数は増えず、ミスも起きにくい運用に
- ささまざまなデータ配信、注文書等の受け取りなど、帳票電子化の基盤としても期待

## invoiceAgent TransPrint

ペーパーレス化を促進する請求書Web配信サービス。請求書・納品書・検収書などの帳票類の発行の自動化、印刷・郵送アウトソースサービスとの併用も可能で、短期間で実装可能なソリューション。

## SVF Cloud

請求書や納品書をはじめとした帳票類をクラウド上で利用可能な帳票クラウドサービス。

### CASE STUDY

## 郵送処理にも対応し、在宅勤務が可能に

エムオーテックスでは、事業の急拡大に伴い請求書の件数が増え、経理のノンコア業務負担が正比例で増大していた。同社ではこれまで、Salesforceの顧客管理から請求書を発行する取引先一覧を印刷。それを経理部門の責任者が金額や請求内容等に間違いがないことを確認し、請求書を印刷する。さらに、出力した請求書に責任者が検印を押し、その後、郵送のために封入作業を行っていた。

DXを進めるなか、請求書送付の電子化と単純業務(ノンコア業務)を自動化できないかと模索していた矢先に、新型コロナウイルスが拡大。経理部門のスタッフも在宅で業務をせざるを得なくなった。お客様ごとに確認連絡を行い、OKが出たところに対してはメールでPDFの請求書を送ることにしたが、メールの本文や送付先、添付ファイルのダブルチェックをその都度行わなければならないと



チェックにかかる工数は紙運用以上にかかる。またチェックをしたとしても、送付ミスリスクが高く残ることが課題として残った。

改めて、請求書の電子化・自動配信の必要性を強く感じたエムオーテックスが選択したのが、帳票類のWeb配信サービス「invoiceAgent TransPrint」だった。invoiceAgent TransPrintを選んだポイントは以下の5つだ。

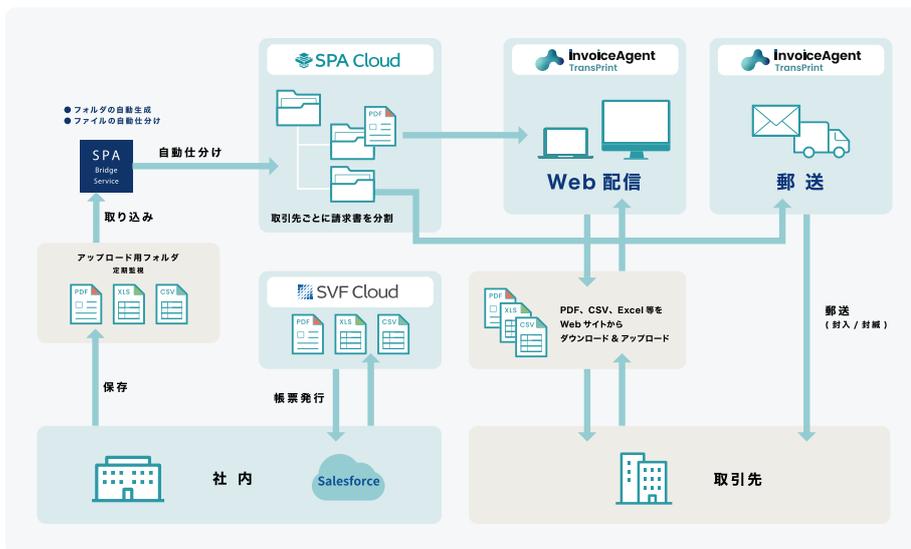
- ①請求書PDFを任意の取引先ごとに自動振り分けできる
- ②導入にあたりシステム開発が不要
- ③既にSVF Cloudを導入しており連携しやすい
- ④請求書以外の納品書や案内資料なども配信できる
- ⑤データを送るだけでなく取引先からデータの受

信もできる

「チェックの工数は半分に削減できました。紙の請求書が必要なお客様には自動で郵送処理できるため、郵送対応の時間も削減でき、出社して作業を行う必要もなくなりました」(樋口氏)

「invoiceAgent TransPrintを利用することで、どんなに取引先が増えたとしても、工数を大きく増やすことなく対応できると考えています」(末永氏)

今後は、請求書以外のお知らせやバージョンアップ通知、新製品広告の一斉配信のほか、取引先からinvoiceAgent TransPrintへアップロードできる機能を使い、検収明細、注文書、仕入請求書等の受け取りなど、対外的な電子取引をinvoiceAgent TransPrintで管理することも視野に入れている。



# MOTEX

Secure Productivity

## エムオーテックス株式会社

設立 : 1990年7月  
所在地 : 大阪府大阪市  
URL : <https://www.motex.co.jp/>

ネットワークセキュリティ市場で高いシェアを有するソフトウェアメーカー。「Secure Productivity」というビジョンを掲げ、エンドポイントを統合管理する[LanScopeシリーズ]、業務の自動化のための業務支援サービス[Synccit]など多様な製品・サービスを展開している。

サイト内でより詳しくご紹介しております。



<https://www.wingarc.com/product/usecase/302.html>